

ICカード登録 取扱説明書



- Microsoft および Active Directory は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。
Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
Smart WelcomEyes は、富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、ICカード登録（以降、「本機能」と呼びます）に含まれる各機能の操作方法、および使用上の注意事項について記載しています。本機能のご使用にあたっては、必ず本書をお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターや、機械の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

お使いのパーソナルコンピューターの基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューターに付属の説明書をお読みください。お使いの機械の操作方法については、機械に同梱されている『管理者ガイド』や『ユーザーズガイド』などのマニュアルをご覧ください。

富士ゼロックス株式会社

本書の使い方

本書は、お使いの機械に本機能をインストールしたうえで、ユーザーが機能を使用する方法や、管理者が各機能を設定する方法などについて記載しています。

本書の構成

本書は、次の構成になっています。

1 IC カード登録について

「IC カード登録」について説明しています。

2 環境設定

3 設定 前提条件（管理者向け）

4 IC カード登録の使い方（一般ユーザー向け）

5 エラー対処

6 注意 / 制限事項

本書の表記

- 機械のソフトウェアのバージョンによって、本書に記載している画面が、お使いの機械と異なる場合があります。
- お使いの機械の構成によっては、画面に表示されない項目や使用できない機能があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。



注記

注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。



補足

補足事項を記述しています。



参照

参照先を記述しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」	・ 本書内にある参照先を表しています。 ・ 機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。
『 』	・ 参照するマニュアルを表しています。
[]	・ 機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。 ・ コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
{ }	・ 操作や動作環境によって変わる値を表しています。 例：[{ログインユーザー名}] が表示されます。
< > ボタン	・ 機械の操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
< > キー	・ コンピューターのキーボード上のキーを表しています。

>

- 機械の操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。
例：「[仕様設定 / 登録] > [登録 / 変更] > [ボックス登録] を選択します。」は、「[仕様設定 / 登録] を押して、[登録 / 変更] を押したあと、[ボックス登録] を選択します。」という手順を省略して記載したものです。
- コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。
例：「[スタート] > [検索] > [他のコンピュータ] で検索します。」は、「[スタート] ボタンをクリックして、[検索]、[他のコンピュータ] を順にクリックして検索します。」という手順を省略して記載したものです。
- 参照先は、次のように表しています。
例：『管理者ガイド』の「5 仕様設定」 > 「共通設定」 > 「音の設定」を参照してください。」は、管理者ガイドの「5 章 仕様設定」内の、「共通設定」での「音の設定」を参照することを表しています。

もくじ

はじめに	3
本書の使い方	4
1 IC カード登録について	7
本体管理のユーザー情報と IC カード情報を関連付ける	7
Active Directory サーバーの認証情報と IC カード情報を関連付ける	7
2 環境設定	9
IC カード登録を利用するための設定	9
インストール（管理者向け）	10
3 設定 前提条件（管理者向け）	11
IC カード登録の制約	11
セットアップ	11
4 IC カード登録の使い方（一般ユーザー向け）	15
新規登録	15
カードの再登録	17
登録情報の削除	17
5 エラー対処	18
IC カード登録ツールのエラー	18
6 注意 / 制限事項	20

1 IC カード登録について

IC カード登録は、ユーザー自身が個人の IC カードとユーザー情報の関連付けを簡単に行うことができるソフトウェアです。この機能を使うことで、サーバー管理者や機械管理者の作業を軽減できます。

IC カード登録を利用できるように設定すると、複合機のメニュー画面に [IC カード登録] が表示されます。[IC カード登録] で、ユーザー自身が IC カード情報を複合機に登録したり、Active Directory® サーバーの認証情報と IC カード情報を関連付けたりすることができます。

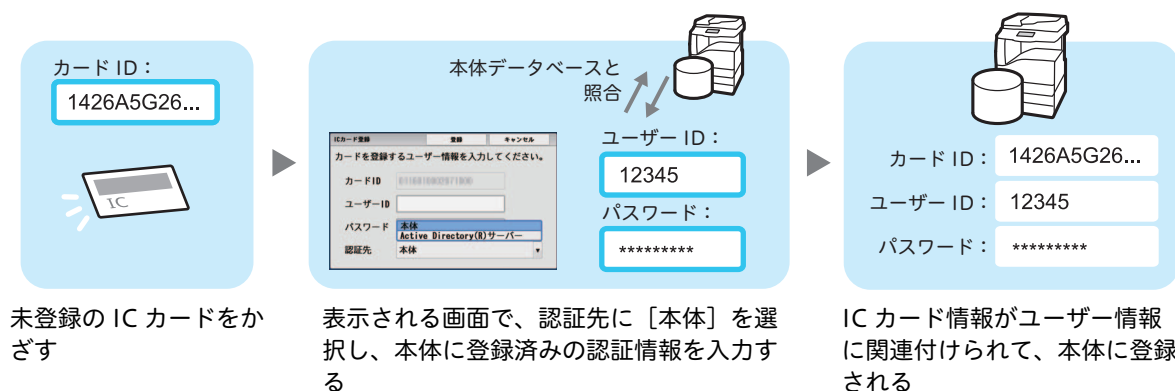


補足

本機能を利用できる機種については、弊社公式サイトをご覧ください。

本体管理のユーザー情報と IC カード情報を関連付ける

管理者は IC カードを配布するだけでよくなるため、管理者の作業を軽減できます。



Active Directory サーバーの認証情報と IC カード情報を関連付ける

Active Directory の認証情報と IC カード情報との関連付けを機械に保存できます。このため、Active Directory のシステム管理者と、複合機の管理者が異なる場合でも、簡単に IC カードの情報を更新できます。



注記

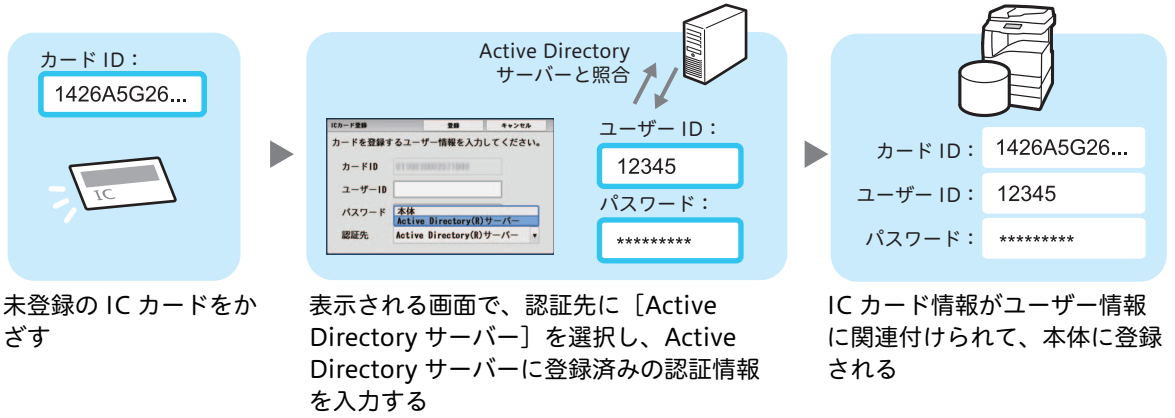
本機能を利用すると、Active Directory サーバーに保存された認証情報が複合機本体に複製保存されます。

複合機本体からの情報漏えいを抑止するため、データセキュリティキット（オプション）の導入によるデータの暗号化を推奨します。



補足

- この機能は、ApeosPort シリーズでだけ利用できます。
- IC カード登録では、外部認証サーバーとして LDAP サーバーと Active Directory の組み合わせだけを利用できます。



2 環境設定

IC カード登録を利用するための設定

お使いの機械で、IC カード登録を利用するための環境を設定します。

項目	設定内容	参照
SOAP ポート	<ul style="list-style-type: none"> SOAP ポート：起動 ポート番号：80 	「SOAP ポート」 (P.9)
プロトコル設定	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で機械を使用するための設定 	「プロトコル設定」 (P.9)



補足

設定内容によっては、機械の再起動が必要です。再起動を指示する画面が表示された場合は、再起動してください。

SOAP ポート

操作手順

- 1 [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] で [SOAP] を選択し、[確認/変更] を押します。
- 2 次の項目を設定します。
 - [SOAP - ポート]：[起動]
 - [SOAP - ポート番号]：[80]
- 3 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 4 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

プロトコル設定

操作手順

- 1 [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP - ネットワーク設定] で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、お使いの機械を TCP/IP 環境で使用するための項目を設定します。
- 2 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 3 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

インストール（管理者向け）

はじめに、『複合機のソフトウェアオプション設定ガイド』を参照して、お使いの機種に必要な設定をします。

その後、『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』を参照して、ICカード登録を機械にインストールしてください。

インストール後、「3 設定 前提条件（管理者向け）」(P.11)を参照して必要なセットアップを実施してください。



参照

ICカード登録をバージョンアップ、またはアンインストールする場合も、『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』を参照してください。

3 設定 前提条件（管理者向け）

IC カード登録の制約

最大 1,000 人まで IC カード情報を登録できます。



注記

登録人数が 1,000 人まで達した状態では、カードの登録 / 再登録はできません。
ユーザー情報を削除する場合は、機械管理者が操作パネルやデバイス設定ツールから該当ユーザーの情報を削除してください。

セットアップ

本機能を使用するためのセットアップ手順について説明します。

IC カードリーダー

IC カードリーダーが設置されていることを確認し、IC カードを読み取りできる状態に設定します。



補足

IC カードリーダーの設置については、弊社担当営業にお問い合わせください。

認証設定 / 集計

操作パネルから機械管理者でログインして設定してください。

- [仕様設定 / 登録] > [集計管理] > [集計管理機能の運用] : 「運用しない」または「本体集計管理」に設定します。
- [仕様設定 / 登録] > [認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証方式の設定] : 「本体認証」に設定します。

IC カード認証時の自動登録設定

操作パネルから機械管理者でログインして設定してください。

- [仕様設定 / 登録] > [認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [IC カード認証時のユーザー登録] : 「自動登録する」に設定します。

仮登録ユーザーのサービス利用制限（任意）

仮登録ユーザーとは、IC カード情報自動登録機能（標準機能）を使用して、IC カード情報をユーザー ID として自動登録された状態のユーザーのことです。

仮登録ユーザーの利用を制限したい場合は、操作パネルから機械管理者でログインして次のように設定してください。

[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [IC カード認証時のユーザー登録] : [自動登録する] に設定すると、自動登録時の初期値として [サービスの利用制限] が表示されます。

- [コピー] > [機能制限] : [コピー禁止] に設定します。
- [ファクス] > [機能制限] : [ファクス禁止] に設定します。
- [スキャナー] > [機能制限] : [スキャナー禁止] に設定します。
- [プリンター] > [機能制限] : [プリンター禁止] に設定します。



補足

未登録カードを紛失した場合、拾得者がそのカードで複合機を自由に使えるため、仮登録ユーザーの利用制限は、すべて禁止に設定することをお勧めします。

Active Directory サーバー設定

Active Directory サーバーの認証情報を使用する場合は、操作パネルまたは CentreWare Internet Services から機械管理者でログインして、Active Directory サーバーを設定してください。

次の項目について、操作パネルの [仕様設定 / 登録] > [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー / ディレクトリサービス設定] で設定します。

- [認証用ユーザー名の属性]：ユーザー ID に使用されます。
- [メールアドレスの属性型]：メールアドレスに使用されます。



注記

- ・ Active Directory サーバーは、ApeosPort シリーズでだけ利用できます。
- ・ ユーザー名は、操作パネルまたは CentreWare Internet Services では設定できません。Active Directory サーバーに設定されている「displayName」属性を取得し、ユーザー情報に設定します。



参照

Active Directory サーバーの設定の詳細については、お使いの機械に同梱されているマニュアルを参照してください。

ユーザー登録

複合機本体に登録されたユーザーが本機能を使用する場合は、操作パネル、またはデバイス設定ツールで、複合機本体にユーザー情報（ユーザー ID、パスワード）を登録してください。



補足

登録後、ユーザー本人に ID、パスワード、および認証先が「本体」であることを通知してください。

機械管理者情報の設定

IC カード登録に、機械管理者の情報を設定します。

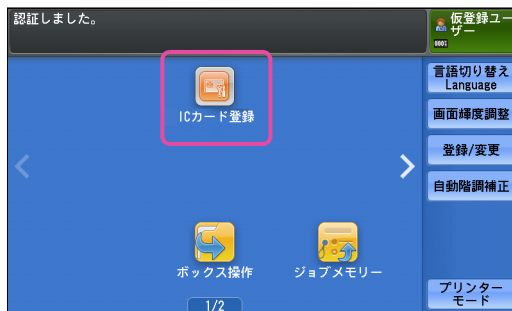


注記

- ・ 本体の仕様設定画面で機械管理者 ID、機械管理者パスワードを変更した場合は、本機能の設定も速やかに変更してください。本機能が正常に動作しなくなります。
- ・ Active Directory サーバーには、ユーザーの ID、パスワードが設定されている前提で運用してください。
- ・ Active Directory サーバーにユーザー情報が登録される前に本機能を使用しても、IC カード登録はできません。

操作手順

- 1 複合機の設定に従い、機械管理者で認証します。
- 2 ICカード登録を起動します。



- 3 [機械管理者 ID]、[機械管理者パスワード] に、本体の仕様設定と同じ値を入力して、[次へ] を押します。

- 4 次の操作をします。

- (1) 運用する構成に合わせて、[認証先設定] にチェックを入れます。
- (2) [標準認証先] で、ユーザーが IC カード登録するときに表示する認証先を選択します。
- (3) [次へ] を押します。



注記

[Active Directory(R) サーバー] は、外部認証に対応していない複合機では表示されません。



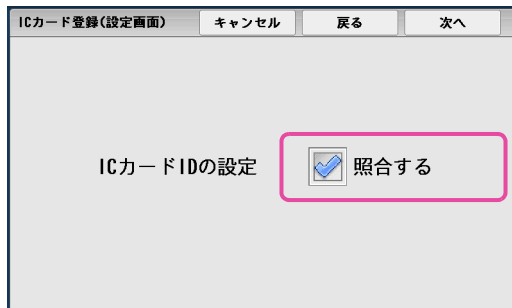
補足

[本体] と [Active Directory(R) サーバー] を併用する場合は、利用人数が多い認証先を標準認証先に設定することをお勧めします。

5 [IC カード ID の設定] で、[照合する] にチェックを入れ、[次へ] を押します。

注記

- ・ IC カード ID の設定を [照合する] に設定していないと正常に動作しません。本機能を使用するときには、必ず [照合する] に設定してください。
- ・ 本機能をアンインストールする場合は、IC カード ID を照合する設定を解除してからアンインストールしてください。本項目の設定を解除しないでアンインストールしてしまった場合は、再インストールすると設定を解除できます。



6 画面の指示に従って、機械を再起動します。

4 ICカード登録の使い方（一般ユーザー向け）

新規登録

Active Directory アカウントを持つユーザーの場合

操作手順

- 1 未登録の IC カードを複合機のカードリーダーにかざし、「仮登録ユーザー」として複合機認証します。



補足

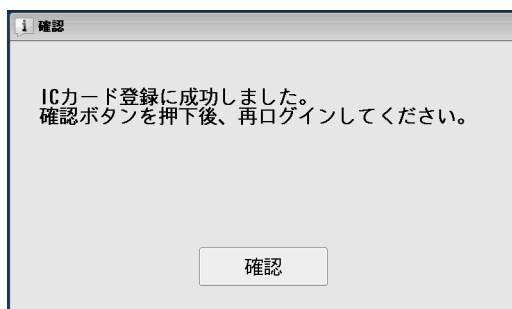
「IC カード認証時はパスワード運用する」に設定していると、カードをかざしたときに、パスワードを設定する画面が表示されます。このパスワードは使用しないので、設定する必要はありません。空のまま [決定] を押して、次の手順に進んでください。

- 2 IC カード登録を起動します



- 3 認証先に [ActiveDirectory(R) サーバー] を選択し、Active Directory の ID とパスワードを入力して、登録ボタンを押します。

- 4 登録結果が表示されます。



注記

- ・新規登録直後は、サービスの利用制限がすべて許可になっています。ユーザーごとに制限したい場合は、新規登録後、機械管理者が設定してください。
- ・手順 3. で入力したパスワードが、複合機のパスワードとして登録されます。Active Directory のパスワードを変更しても、複合機のパスワードは自動で更新されません。Active Directory のパスワードを変更した場合は、ユーザー自身が複合機の操作パネルでパスワードを変更してください。

補足

ICカードを登録すると、複合機の認証機能を利用できるようになります。「ICカード認証時はパスワード運用する」に設定している場合は、手順 3. で入力したパスワードを入力すれば、複合機にログインできます。

Active Directory アカウントを持たないユーザー（本体ユーザー）の場合

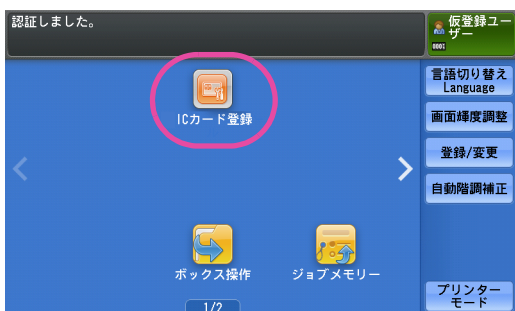
操作手順

- 1 事前にユーザー情報（ID・パスワード）が登録されていることを、機械管理者に確認してください。
- 2 未登録カードを複合機のカードリーダーにかざし、「仮登録ユーザー」として複合機認証します。

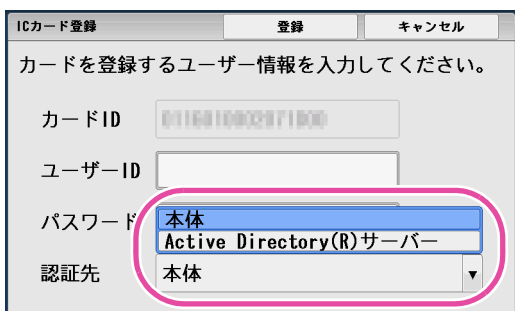
補足

「ICカード認証時はパスワード運用する」に設定していると、カードをかざしたときに、パスワードを設定する画面が表示されます。このパスワードは使用しないので、設定する必要はありません。空のまま「決定」を押して、次の手順に進んでください。

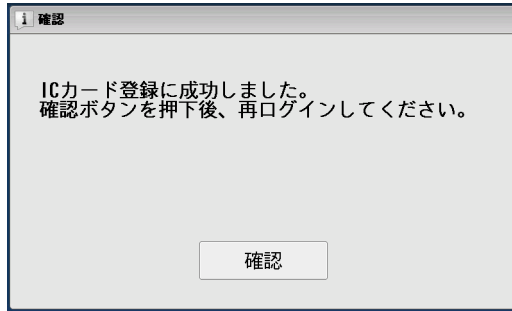
- 3 ICカード登録を起動します



- 4 認証先に「本体」を選択し、機械管理者から通知された ID とパスワードを入力して、登録ボタンを押します。



5 登録結果が表示されます。



カードの再登録

カードを再発行した場合など、今まで使用していたカードとは異なるカードを上書き登録したいときの登録方法を説明します。

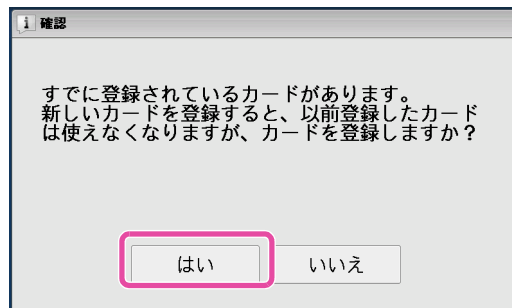


注記

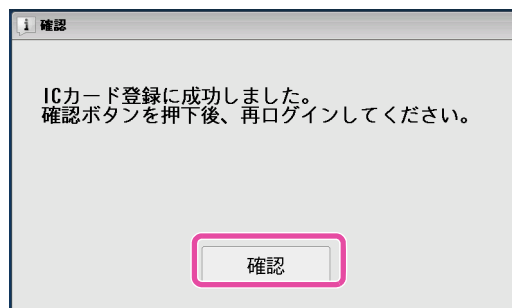
それまで使用していたカードは無効になります。

操作手順

- 1 新規登録と同じ操作をします。
- 2 次の画面が表示されたら、[はい] を押します。



- 3 [確認] を押します。



注記

登録人数が1,000人まで達した状態では、再登録できません。

登録情報の削除

機械管理者に、該当ユーザーの情報の削除を依頼してください。

5 エラー対処

本機能をお使いのうえで、トラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

IC カード登録ツールのエラー

エラーコード	メッセージ	対処方法
011 012 013	認証サーバーから応答がありません。 ネットワーク環境を確認してください。	ネットワーク環境、または機械の通信設定を確認してから、登録し直してください。
101 102 103	Active Directory (R) サーバーへログインできませんでした。	Active Directory の認証情報を確認してから、登録し直してください。
110 202	IC カード登録に失敗しました。	最初から登録し直してください。
122	ユーザー ID が正しく入力されていません。 ユーザー ID は半角英数または記号で最小 1 文字、最大 32 文字です。 以下の記号は利用できません。 「"」、 「+」、 「;」、 「<」、 「>」、 「?」、 「[」、 「]」、 「\」、 「{」、 「 」、 「}」	ユーザー ID を確認してから、入力し直してください。
201	本体登録ユーザーとの照合に失敗しました。	ID とパスワードを入力し直してください。
301	IC カード登録に失敗しました。	パスワードが短すぎる可能性があります。 4 文字以上のパスワードを指定して、最初から登録し直してください。
302 303 304	IC カード登録に失敗しました。	機械管理者にユーザー情報の削除を依頼し、再度登録してください。
307 308 309	システムエラーが発生しました。再起動してください。 再起動してもエラーが発生する場合はお問い合わせください。	機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
401	機械管理者の ID とパスワードが正しくありません。 機械管理者に ID とパスワードの再設定を依頼してください。	機械管理者に初期設定を依頼してください。
404 500 600	システムエラーが発生しました。再起動してください。 再起動してもエラーが発生する場合はお問い合わせください。	機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
702	このカードはすでに登録されています。	カードの管理者に、カードの確認を依頼してください。
703	ログインユーザーの情報取得に失敗しました。	最初から登録し直してください。
704	複合機の情報取得に失敗しました。	最初から登録し直してください。
705	ログアウトできませんでした。	認証ボタンを押して、ログアウトしてください。

エラーコード	メッセージ	対処方法
706	初期設定が完了していないため、本機能は使用できません。 管理者に初期設定を依頼してください。	機械管理者に初期設定を依頼してください。
707	システムエラーが発生しました。再起動してください。 再起動してもエラーが発生する場合はお問い合わせください。	機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
709	システムエラーが発生しました。再起動してください。 再起動してもエラーが発生する場合はお問い合わせください。	機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
710	認証設定が本体認証以外の場合は、本機能は使用できません。	機械管理者に認証設定の確認を依頼してください。
711	指定されたユーザー ID は登録できません。	ユーザー ID を変更してください。
801 802	IC カード登録に失敗しました。	弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
900 ~ 999	システムエラーが発生しました。再起動してください。 再起動してもエラーが発生する場合はお問い合わせください。	機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。

6 注意 / 制限事項

本機能を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 次のユーザー ID は、使用しないでください。
 - 「」（半角スペース）だけのユーザー ID
 - 「"」、"+)、";)、"<)、>)、"?)、"[)、"]）、`）、{）、|）、}）、:）、#）、(、)）、¥）、,）、*）、/）、=」の記号のうちどれかを含むユーザー ID
 - 「'」で始まるユーザー ID
- パスワードは、本体ユーザー、Active Directory ユーザーのどちらも、半角英数または記号で、4～12文字の範囲で設定できます。ASCII コードの文字だけを使用できます。
- 本機能は、ICカード情報としてユーザーIDとは異なるカードIDを使用しているユーザーだけが使用できます。
- ICカード登録を操作中に、メニューボタンなどで設定画面を閉じたり、放置して自動リセットが動作したりした場合は、仮登録ユーザーが残ることがあります。その場合は、機械管理者が削除できます。操作パネル、またはデバイス設定ツールで、ユーザー名が「仮登録ユーザー」のユーザーを検索して削除してください。

仮登録ユーザーが認証したままの状態になっている場合は、認証ボタンを押すことで解除できます。



補足

- ・ 仮登録ユーザーとは、ICカード情報自動登録機能（標準機能）を使用して、ICカード情報をユーザーIDとして自動登録された状態のユーザーのことです。
- ・ 「仮登録ユーザー」で検索できない場合は、設定が変更されている可能性があります。仮登録ユーザーのユーザー名は、[仕様設定 / 登録] > [認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] の、ICカード情報を自動登録したときの初期値に設定されています。ここで設定されているユーザー名を検索して削除してください。
- 仮登録ユーザーでジョブを実行している間は、ICカードの登録、再登録をしないでください。
- Active Directory サーバーを利用する場合は、Active Directory サーバーに保存された認証情報が複合機本体に複製保存されます。

複合機本体からの情報漏えいを抑止するため、データセキュリティキット（オプション）の導入によるデータの暗号化を推奨します。
- Active Directory サーバーは、ApeosPort シリーズでだけ利用できます。対応していない機種では、Active Directory に関する設定は表示されません。
- 本機能と併用できないサービスや関連商品は次のとおりです。
 - Smart WelcomEyes Advance
 - Smart WelcomEyes Advance 2
 - 指静脈認証
 - 本体認証モード以外の運用を前提とする各種サービス
- 退職者の IC カードを再利用する場合は、次のユーザーにカードを渡す前に、機械管理者が該当カードのユーザー情報を本体から削除してください。
- 1度登録したユーザーを、認証先を変えて再登録することはできません。
- 登録人数が 1,000 人まで達した状態では、ICカードの登録 / 再登録ができません。

ICカード登録 取扱説明書

著作者 富士ゼロックス株式会社
発行者 富士ゼロックス株式会社

発行年月 2017年 4月 第1版

(帳票番号 : ME7692J1-4)